



## 生活の質を高める

## 一人ひとりに最適な介護用具を

株式会社マルベリー さわやかセンター札幌

◎社会福祉士／福祉用具専門相談員／福祉住環境コーディネーター2級

Hazawa Rina

羽澤里那さん

「車椅子だけでもこれだけの種類があるんですよ」

案内してくれた倉庫には機能や形状が少しずつ異なる車椅子がずらりと並べられています。

「狭い家でも動きやすいコンパクトなタイプや正面でなく横から乗り降りできるものなど、利用者様のニーズに合わせて車椅子も進化し続けているんですよ」

介護用具の販売・レンタルを手掛ける(株)マルベリーの羽澤里那さんが説明してくれました。

年をとって体力が低下したり、日常の動作に支障が出たりしたとき、車椅子や歩行器などの介護用具を取り入れることで生活の質が上がったり、介護する人の負担を軽減できるといふ場合がたくさんあります。ですが、千差万別の介護用具から最適な一台を選択するには専門的な知識が不可欠。そんな時、利用者の立場で確かなアドバイスを行うのが福祉用具専門相談員という仕事です。羽澤さんも同相談員として活躍しています。

「私たちの仕事は基本的に利用者様を支援しているケアマネジャーさんからの指示で始まります。障がいの

度合いやご家族の状況、ご自宅の様子などを伺って、必要な機能を満たす介護用具をご用意。それらを自宅や施設にお届けし、実際の使い心地を試していただきます。体に合わない、操作がしづらいなどの要望があればその場で調整したり、他の商品を提案します」

さらに、羽澤さんは介護用具の提案だけでなく、手すりやスロープの設置といった住宅改修の相談にも応じます。

「この仕事で大切なのは想像力。車いすが必要なら廊下の手すりも必要では？介護ベッドがあったほうが安心じゃないか？など、利用者様の日々の生活をイメージしながら提案を行うんです」

自分の提案したもので負担が軽減したり、行動範囲が広がったり、利用者様の暮らしに貢献できるのが一番の喜びだと、羽澤さんは仕事のやり甲斐を語ってくれました。

Interview  
mulberry



株式会社マルベリー  
さわやかセンター札幌

札幌市東区北31条東18丁目6-13  
011-781-3084  
www.mulberry-hokkaido.co.jp/